

# 議会だより

## もくじ

議会運営委員会活動報告	2
常任委員会活動報告	3～4
一般質問	5～9
12月定例会の審議結果、各議員の賛否一覧	10
3月定例会のお知らせ	11
小塩江小議場見学の様子、 議場見学の案内、編集後記	12

 須賀川市

第 67 号

平成 31 年 2 月 15 日発行  
(須賀川市人口 76,141 人 1 月 1 日現在)  
[前年度比 △ 399 人]



## tette オープン!



オープニングセレモニーの様子 (1月11日)

### 須賀川市民交流センター tette

1月11日tetteのオープニングセレモニーが開催され多くの市民が訪れました。  
公民館・図書館と屋内子ども遊び場の機能が合体した新しい形の市民交流センターは、「人を結び、まちをつなぎ、情報を発信する場の創造」を合言葉に、市民の皆様様の様々な活動をサポートします。



スタジオの様子 (ガラス越しに見学できます)

### ウルトラFM 開局

tetteのオープンに合わせて、市民のためのFMラジオ局「ウルトラFM」がtetteの4階に開局しました。  
本議会広報常任委員会では、新しい議会広報の在り方として、電波を使用した広報について調査・研究しています。



## 議会運営委員会活動報告

### ● 行政調査

昨年11月8日に行政調査を行いました。

#### 岩手県大船渡市

「災害時における議会の対応」  
大船渡市議会災害対応指針等の策定について」

大船渡市議会では、東日本大震災の経験を踏まえ、今後も発生が懸念される大規模災害時の議会及び議員の取るべき行動を具現化することを目的として「災害時対応指針」を定め、併せて「災害対策会議設置要綱」「災害対応マニュアル」が策定されました。

議員自らの行動や議会としての対応、市当局との連携に向けて、指針や要綱、マニュアルなどを整備することは、今後本市にも必要不可欠であると感じました。

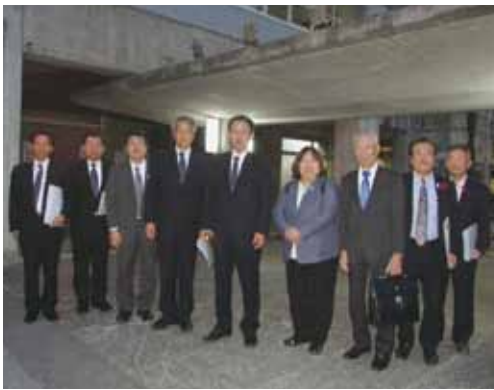
さらに、被災者（市民）との情報共有・相談などへの対応、地区相談窓口の設置など、災害に対する仕組みづくりが非常に大切であることを学びました。

大船渡市議会では、議員全員の作業服（防寒具、ヘルメット、安全靴を含む）の準備も

ており、また、防災行政無線の操作訓練や防災訓練を定期的に行なうて非非常時の連携強化を日常から再認識していくことが大切であると思います。

「備えあれば憂いなし」  
「天災は忘れた頃にやってくる」

委員長	五十嵐 伸
副委員長	丸本由美子
委員	溝井 光夫
〃	佐藤 栄久男
〃	安藤 聡
〃	相楽 健雄
〃	生田 目進
〃	大内 康司



大船渡市役所にて（佐藤議長も同行しました）

### ● 行政調査報告会

議場に新たに設置された大型スクリーンの活用について、議会運営の観点から協議検討を行い、その活用方法の1つとして行政調査の報告会を開催しました。

昨年の12月定例会終了後に、議場にて

- ・ 議会運営委員会
- ・ 総務常任委員会
- ・ 建設水道常任委員会
- ・ 生活産業常任委員会
- ・ 教育福祉常任委員会

の5つの委員会の委員長または副委員長が書画カメラを使用し、大型スクリーンに視察資料や写真などを映しながら1委員会15分の持ち時間で実施しました。

初めての試みでしたが、各委

### ● 議長立候補制導入

かねてより議長の選出経過を明らかにするため、立候補制導入について協議検討してきました。

このたび行政調査や他市の事例などを参考にしながら、制度の運営方法や手続きを実施要領として作成しました。

員会の行政調査内容を把握でき、大変有意義な報告会となりました。

今後は、活用の広がりについて検討を進めてまいります。



視察報告会の様子

主な内容は、次の通りです。

- ・ 議長選挙に立候補を希望する議員は、あらかじめ届け出を行う。
- ・ 立候補者が所信を述べるため議長選挙の前に所信表明会を開催。

なお、実施要領の運用開始は2019年改選後の最初の議長選挙からです。





# 常任委員会活動報告

## 総務常任委員会

昨年10月10日から12日まで、兵庫県丹波市と滋賀県長浜市を調査しました。

### 兵庫県丹波市

#### 「行政評価の取組について」

丹波市の行政評価は、「職員」「市民からの外部委員」、そして「議会」の3つの視点で評価を行っています。このうち、議会による評価は、議会基本条例に基づき、施策評価と事務事業評価を実施しています。

そのスケジュールは6月議会会期中に評価対象事業を抽出し、7月に市からの説明を受け、8月には各常任委員会で評価のまとめを行っています。その後、9月の議員総会を経て、本会議で提言書を決議し、市長へ提出する流れとなっております。11月には市長から提言書に対する回答を受けています。

提言により、改善に結びついた事例もあり、評価の趣旨、目的、視点、活用、スケジュール、成果など大変参考になりました。

### 滋賀県長浜市

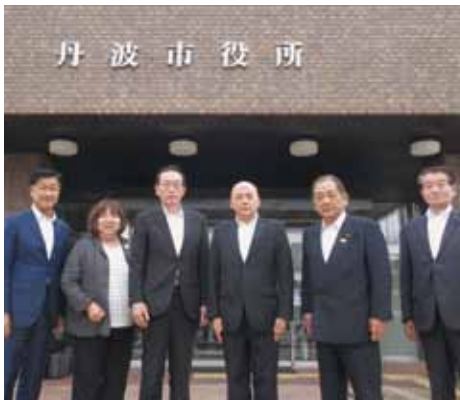
#### 「庁舎のセキュリティ対策について」

長浜市の庁舎は、琵琶湖や黒壁など長浜市の象徴的な情景をイメージしたデザインが取り入れられています。

東館は新館、西館は旧長浜病院建

物を改修して整備した庁舎です。庁舎のセキュリティ対策は、本市同様にICカードによる入室管理システムを採用しており、執務スペースには職員以外は入室できません。市民相談などでのプライバシーに配慮した相談室が数多く設置されており、また、各課の案内板は文字が大きく遠くからでも分かりやすくなっています。

本市の庁舎も様々な機能を有していますが、さらに市民の皆様が使いやすい施設となるよう提言していきます。



丹波市役所前にて

- |      |    |     |
|------|----|-----|
| 委員長  | 大越 | 彰   |
| 副委員長 | 大寺 | 正晃  |
| 委員   | 広瀬 | 吉彦  |
| "    | 丸本 | 由美子 |
| "    | 鈴木 | 正勝  |
| "    | 高橋 | 秀勝  |

## 建設水道常任委員会

昨年10月17日から19日まで愛知県刈谷市と三重県名張市において、継続調査事件のうち「都市施設の管理運営及び所管の事務の執行」について調査しました。

### 愛知県刈谷市

#### 「フローラルガーデンよさみの指定管理者による公園管理について」

指定管理者による施設管理、運営業務、また、園芸を通じた市民交流、環境保護や自然学習の情報拠点としての公園づくりの手法を学びました。

### 三重県名張市

#### 「空き家等の適正管理について」

空き家等の適正な管理のための様々な取組について調査研究するとともに、先駆的空き家対策モデル事業における取り組みと活動効果について学びました。

これらの行政調査を踏まえ、委員会での検討や当局と

の意見交換など議論を深め、今後の都市公園の運営や在り方、空き家等の適正管理について、当局へ提言していきます。



名張市議会議場にて

- |      |    |    |
|------|----|----|
| 委員長  | 関根 | 保良 |
| 副委員長 | 本田 | 勝善 |
| 委員   | 水野 | 透  |
| "    | 横田 | 洋子 |
| "    | 加藤 | 和記 |



## 生活産業常任委員会

昨年11月19日から21日まで長野県佐久市と新潟県十日町市を調査しました。

### 長野県佐久市

#### 「地産地消の取組について」

佐久市は長野県内でも有数の穀倉地帯であり、「五郎兵衛米」をはじめとしたブランド米、農薬や化学肥料を抑えた特別栽培米、水田鮎の養殖田で栽培される「ふな米」など、安全性を高め、特色を生かした米の生産が実施されています。

佐久市の取り組みは、行政の担当者からの発案だけではなく、官民共同による発案や、鯉や水田鮎といった地元の食文化の活用など、施策のアイデアは多岐に渡り、大変参考となりました。

### 新潟県十日町市

#### 「中心市街地活性化について」

新潟県十日町市の中心市街地活性化基本計画は、「市の顔」であり「拠り所」である中心市街地に活力を取り戻し、「選ばれて住み継がれる十日町市」を創り出すために、

- ・産業文化発信館整備事業
- ・市民交流センター整備事業
- ・市民活動センター整備事業

ほか計66事業が取り組まれてきました。

基本計画の最終フォローアップに関する報告では、十日町市が基本理念に掲げた市民活動などの展開による「新たなにぎわい」の創出や安心・快適なまちづくりが進み一定の成果が書かれています。

今回の行政調査を踏まえ、委員会での議論を深めていきます。



佐久市役所前にて

委員長	相楽	健雄
副委員長	溝井	光夫
委員	渡辺	康平
"	大倉	雅志
"	五十嵐	伸
"	市村	喜雄

## 教育福祉常任委員会

昨年10月22日から24日まで兵庫県豊岡市と広島県尾道市公立みつき総合病院を調査しました。

### 兵庫県豊岡市

#### 「介護予防・日常生活支援総合事業について」

- ・介護予防・生活サービス事業
  - ・一般介護予防事業
  - ・高齢者福祉3事業
- について調査しました。

具体的には、健康まちづくり指導員を各行政区に派遣したり、すこやか市民健診として各種検診を実施しています。

通所型介護予防事業では、「運動からだ元気塾」として運動器の機能向上プログラムが特徴的でした。

地域リハビリテーション活動支援事業では、理学療法士などが身体評価などに基づいた助言・提案を行い、利用者の目標確認や情報の共有ができていました。

### 広島県尾道市、公立みつき総合病院

#### 「地域包括ケアシステムの構築について」

昭和49年に在宅ケアによる寝たきりゼロ作戦として医療・介護の出入前を実施するとともに各種介護施設の設置、住民参画に

よる互助組織の設立などを実践しました。昭和59年に保健・医療・介護・福祉の連携、統合をし、平成元年に地域包括ケアシステムを構築しました。

同システムは、自立した生活ができるようにする全人的医療・ケアであり、各施設が1カ所に集積しています。利用者は隣接市町村に波及しており、日本一のシステム確立地です。

今後、当市並びに広域行政に役立つ行政改革の参考事例と思われました。



豊岡市議会議場にて

委員長	生田目	進
副委員長	安藤	聡
委員	大河内	和彦
"	佐藤	栄久男
"	佐藤	瞭二
"	大内	康司





# 13人の議員が、 市政に対する一般質問を 行いました

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、市政全般について市長などの方針を問うものです。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してあります。



加藤 和記

**児童、生徒の学力向上対策について**

**問** RST（リーディングスキルテスト）は、子ども達一人一人の基礎的読解力がどういう現状なのかを調査するテストで、実力がどのくらいなのかつかんで対応することは、子ども達の将来に大きく影響すると思われることから全市的な取り組みをお願いしたい。市の考え方は。

**答** 市内の小・中学校では、全国学力・学習状況調査や県の学力調査、市総合学力調査を行い、学力の変容や経年変化を捉えながら読解力をはじめとして詳細な分析を行い、学力向上策を講じているこ

とから、全市を挙げて新たにRSTを実施することは考えていない。

**問** これからAIが、人間がやっている仕事に取ってかわろうという時代、AIに勝つためには、基礎的読解力を身に付けることは最重要課題である。本市の教育目標にも掲げている社会で自立できる子ども達を育てていくためには、RSTはぜひ受けたほうが良いと考えるが、市の考えは。

**答** 子ども達の負担や、授業時数の確保が難しいため今のところ考えていないが、教育委員会としても今後、さらに検討を加えていきたい。

### その他の質問項目

- ①人口減少地域における住民自治の在り方について
- ②公金紛失問題について



佐藤 栄久男

**市有地の管理等について**

**問** 普通財産の売却や賃貸借など今後の活用方法について。

**答** 活用できる土地については、施設利用者の駐車場などに利用するほか、希望者には貸付けを行うなどの活用を図っている。管理コスト縮減の観点から、普通財産保有面積の縮小を図っている。今後の利活用を勘案しながら希望者には積極的に売却を実施している。

**「減反廃止元年」の米の需給関係実態と来年度の米生産環境等について**

**問** 本年度米の用途別作付動向に対する市の分析について。  
**答** 主食用米の作付面積は前年度と比べ2.95ha、7.7%増加、県

からの数量目安より570ha、15.8%増加。非主食用米の作付は、昨年と比べ加工用米が10%程度増加、飼料用米や備蓄米などは、40%程度減少。主食用米増産の要因は、近年の米価上昇傾向を反映した生産意欲の増大によるものが大きい。

**問** 来年度における市の需給調整の推進施策及び飼料用米多収性品種の推進具体策について。

**答** 市助成制度を継続しながら、非主食用米や転作作物作付けによる水田フル活用を推進する。飼料用米多収性品種については、東部地区や大規模農家に対し、米価変動に対するリスク分散などを説明しながら重点的に推進を図る。

### その他の質問項目

- ①イノシシによる農作物等被害対策について
- ②放射線物質吸収抑制資材（カリ肥料）散布及び米全袋検査の今後について



# 12月定例会一般質問



鈴木 正勝

**安全・安心のまちづくりへ、危機管理・防災減災政策の強化について**

**問** 防災アセスメント結果に基づく地区防災カルテの作成について。

**答** 防災アセスメント調査と同様に県などの関係機関と協議の上、実施の有無も含め、総合的に検討する。

**問** タイムライン(事前防災行動計画)、シエイクアウト(一斉行動訓練)の拡充について。

**答** 来年度、郡山市の阿武隈川流域で開催されるタイムラインを使用した水防演習訓練に参加する予定であり、その内容を踏まえながら対応していきたい。シエイクアウトについては、今後も機会あるたびに実施していきたい。

**問** 災害時の避難など

で配慮した対応をスムーズに行えるよう、平時からヘルプカードやヘルプマークの配布は。

**答** 現在、ヘルプマークについては、本年11月から社会福祉課、長沼、岩瀬両市民サービスセンターにおいて希望者に配付、新年度においてヘルプカードも配付する。

**認知症の早期発見、予防、進行抑制対策の促進について**

**問** 認知症スクリーニング検査の健康診査への導入の考え、また、認知症初期集中支援チームの拡充は。

**答** 認知症スクリーニング検査については、実施の有無や効果などを含め総合的に研究する。チームの拡充については、今後、相談件数等を勘案しながら対応する。

## その他の質問項目

①水道事業の総合対策の推進について



本田 勝善

**自然災害時におけるため池の安全確保について**

**問** ハザードマップを作成したため池について、市民への周知方法と、今後の取り扱い及び県が今年度に進めている防災重点ため池の基準見直しに対する市の考えは。

**答** 本市が作成した農業用ため池ハザードマップは、市のホームページで公表しており、浸水区域の住民だけでなく、広く市民に対して公開している。今後は、更なる周知を図るため、ハザードマップ作成区域の住民に対しては、地元説明会を開催するなど、災害時に地区住民の迅速な避難に繋がるよう周知に努める考えである。

また、県においては、現在、防災重点ため池の基準見直しを実施しているが、市としては、県から新基準が示され、新たに選定される防災重点ため池についても想定被害状況などを勘案しながら、ハザードマップを作成し、自然災害時におけるため池の安全確保に努める考えである。

**健康づくり事業について**

**問** 健康づくり推進員の事業方針、健康づくり支援などの新たな民間事業者の活用について。

**答** 健康づくりに対する意識や知識を高め、推進員の活動を活性化し、地域において果たす役割をさらに充実させるよう支援していく。民間事業者の活用については、健康づくりを支援する各事業などへの需要や関わり方などを見極めながら、対応していく考え。



水野 透

**不登校の子どもたちの受入れについて**

**問** 不登校の小・中学生の人数と学校に行けない理由、市教育委員会では学校に行けない子ども達がどのように過ごしているかを把握しているのか、高校進学に不利になることはあるのか伺う。

**答** 平成29年度は小学校6名、中学校58名の計64名。その主な理由は「友人関係」「学業」「家庭の状況」など。教育委員会では学校と共に対応している。中学校卒業後の進路は他の生徒と同様に県立高等学校、私立高等学校、専修学校、サポート校など。

つなぐスクールソーシャルワーカーの人数と活動について伺う。

**答** 学校の別室での学習や適応指導すこやか教室に通級しての学習などにより支援。適応指導すこやか教室は、常勤3名と教育研修センター指導主事が指導している。ソーシャルワーカーは市教育委員会に2名配置し子ども達の心の安定に向けた支援を行っている。

**安心して生活できるセーフティネットについて**

**問** 平成30年10月の生活保護費の見直しの影響と就労支援の内容や成果を伺う。

**答** 高齢者夫婦世帯などは平均月額1,694円の増額、単身世帯などは3,311円の減額、全体としては増額。就労支援員がハローワークと連携しながら就労のサポートを実施しており、就労に結びついている。





横田 洋子

障がい者雇用について

問 中央省庁の障がい者雇用増し問題で、働く機会を奪われ続けた障がい者の怒りや憤りは計り知れないことを行政に関わる者は肝に銘じなければならぬ。本市の障がい者雇用の現状と就労の考え方は。

答 障がい者の職業の安定を図るため、積極的に雇用していく。

問 障がい者雇用の調査結果は。

答 平成29年6月現在、実雇用率1.92%、法定雇用者数13人に対し、雇用者数11人。

問 合理的配慮を進める啓発、研修の実施を伺う。

答 勤務する職場の管理職と連携を図りながら、働きやすい職場環境に努める。

児童遊園等の現状と今後について

問 近年の児童遊び場及び遊具は、増加しているのか、減少傾向か、伺う。

答 児童遊び場は増減なし。遊具数は平成27年から今年度まで減少。平成25、26年度で、65基の遊具を更新整備した。

問 遊具が新設・更新され、児童遊び場の充実が図られているにも関わらず、児童遊び場に子ども姿がないことは、少子高齢化や人口減少など、社会構造の変化に対応できているのかが問われている。高齢化社会の中、全国的に健康器具が設置される公園が増加しているが、介護予防としての身近な児童遊び場の利用についての考えを伺う。

答 住民の皆さんの意見などを伺い、地域で市民の健康増進を図る場としての活用の意向がある場合は、可能な限り維持していく。

その他の質問項目

- ①ウルトラ窓口サービス  
②感染症予防の支援について



大河内和彦

須賀川駅西地区と周辺整備について

問 駅西周辺の整備計画の進捗状況。

答 東西幹線道路整備事業に着手し、道路拡幅部の用地買収や物件補償業務などに取り組んでいる。

問 東部環状線から新築橋間の市道1101号線から、東西幹線道路への進入について、どのような安全対策を検討されているのか。

答 生活道路である市道1101号線は、これまでの経過から拡幅は困難。東西幹線道路との交差点で、注意喚起を促す路面表示や、交差点全体のカラー化、交通安全施設を適切に配置するなど対策を講じていく。

問 東西自由連絡通路の設計業務の進捗状況。また、子どもや高齢者などの交通弱者の安全性や利便性について、どのような検討をされているのか。

答 今年度は、以前策定した基本設計調査の修正を実施し、次年度は、その結果を受けて東西自由連絡通路の設計内容を精査する。交通弱者対策は、歩行空間に十分な広さを確保し、緊急時にはストレッチャーターが使用可能なエレベーターを設置するなど、安全に通行できるように検討していく。

問 市民の要望が多いエスカレーターを設置について、どのような状況か。

答 東側及び西側にエスカレーターを設置する市の基本方針に基づき、市長が直接JR東日本仙台支社を訪問し、設置を要請した。引き続き協議を進める。

その他の質問項目

- ①移住・定住について  
②障がい者雇用について



大倉 雅志

水道の現状と課題について

問 国会で水道法の改正が通過した。最大のポイントは、水道経営権の移譲で、民間に委託が可能となったことであるが、料金の設定、施設の在り方など、丸投げ状態も心配される。改めて、本市で行った一部民間委託を含めた包括業務委託の導入経過について伺いたい。

答 水道事業運営のための各種技術の継承や技術水準の維持、事故緊急時の対応など、安全で安定した水道事業の運営を持続的に行うことを目的に、水道事業包括業務委託の導入を図った。

問 給水区域設定の線引きの考え方は。

答 土地の利用状況、家屋の配置状況などから合理的な範囲を決定し、一般の需要に応じて給水ができることとした区域。

問 給水区域において、水道事業が求められる役割とは。

答 給水区域内の需用水者に対して、安全な水道水を安定して供給することが最も大切な役割である。

問 給水区域でありながら給水がされないといった地域の対応についての考えは。

答 配水管布設の財源について、国や県に財政支援の要望などを行うなど、財源の確保に努めるとともに、あわせて企業経営の健全化を念頭に置いて、合理的な整備計画を含め、総合的に検討したい。

その他の質問項目

- ①会計年度任用職員について  
②保育料無償化と児童虐待について



# 12月定例会一般質問



渡辺 康平

庁内組織の再編について

**問** 現在の企画財政部は、政策の推進役と予算にブレーキをかける財政部局が一体となっているため、いわばアクセルとブレーキが混在している。今後、重要政策にスピード感を持って決定、推進するためには、市長直属の政策推進に関するセクションを設けるべきだと考えるが市の考えは。

**答** 現在の企画財政部創設後は、行政評価における事務事業の評価決定を予算に反映させるなどにより、健全で持続可能な行政経営に努めている。予算編成に際しても、市の財政状況を踏まえて政策を立案し、推進する対応をしてきたところである。

る。なお、大規模な組織改編後、相当年数が経過していること、市政は復興期から発展期に移行していること、さらには、社会情勢の変化を踏まえて、行政組織の在り方について、おただしの点も含めて検討していく。

**問** 部課を超えて一体的なまちづくりを推進していくためには、企画調整部門にまちづくりに特化した専門組織を創設すべきと考えるが市の考えは。

**答** 本市のまちづくりは、関係する課がお互いに横の連携を図りながら、着実に推進していると考えているが、時代と共にニーズは変わっていくことから、まちづくり部門に限らず、組織の在り方については、常に課題意識を持っていく。その一方で変更の頻度が多過ぎることは、市民サービスに影響もあることから、総合的に検討していく。



大寺 正晃

観光施策について

**問** 東京オリンピックを目前に控えた今、市内在住外国人にお願いして母国の言語で情報発信してもらうなど外国人の活用が有効であると考え。そのためにも、在住外国人と本市とのパイプ役となる国際交流協会のような組織を須賀川市独自として設立することも重要と考えるが、本市の考えは。

**答** 海外への情報発信強化は重要であると考えている。海外の方々が魅力を感じる情報を発信するにあたり、本市在住の外国人の方々の情報発信力を活用することも有効な手段の一つと考えており、提案いただいた内容の必要性も含め今後も研究していく。

学習旅行では、日本橋で本市と稲田学園のPR活動を行ったが、素晴らしいと思う。今後もこのような取組を企画する学校があれば市教育委員会としてどのような支援ができるのか。

**問** 全国的にカラマンホール蓋が人気であるが、GKP（下水道広報プラットホーム）に本市のマンホール蓋を登録しマンホールカードを発行すべきでは。

**答** マンホールカードの発行は下水道施設への興味や関心を深めると共に普及啓発にもつながり、また、観光施策へも一定の効果があると考えられることから実施に向けて検討していく。

**問** 9月に実施された小中一貫教育校稲田学園の

**その他の質問項目**

①外国人の増加について②ウルトラFMの活用について



丸本由美子

生活保護基準額引下げの影響について

**問** 安倍政権は10月から生活扶助費を3年間段階的に引下げる事を決定。生活保護基準は、最低賃金を決定する要件や学用品・給食費などを補助する就学援助など、低所得者向けの各種制度の基準にもなっており、引下げは国民全体の暮らしに影響を与える。75歳以上及び現在65歳の単身高齢者が受ける影響は。

**答** 3年間で75歳以上の単身高齢者の生活保護費改定額は総額1万1880円の減額、65歳の高齢単身世帯は総額1万9200円の減額。消費支出に若干の影響が出てくるものと考え。

対応を伺う。

**答** 現時点での影響はないものと認識。今後も保護基準見直しの影響が及ばないよう対応していく考え。

**問** 母子加算及び児童養育加算の見直しの内容と本市で影響を受ける世帯数について伺う。

**答** 母子加算については、月額で子供が1人いる世帯は3820円の減額。子供が2人いる世帯は1400円の減額。子供が3人いる世帯は2000円の増額。子供が4人以上の世帯は1人につき2400円が加算。児童養育加算は、第1子、または第2子で2歳以下の児童と第3子以降で小学校修了前の児童に対しては5000円減額。本市の対象世帯は、母子加算が22世帯、児童養育加算が26世帯となっている。

**問** 須賀川で受給者の半数以上が減額の影響を受ける。生活保護基準見直しの周知方法は。

**答** 保護変更決定通知書を自宅に送付。機会を捉えて担当ケースワーカーが周知を図った。





溝井 光夫

公民館の整備について

**問** 少子高齢化・人口減少社会において、公民館の果たす役割はますます大きくなっていく。公民館をどのような位置付けとして考えているのか。

**答** 須賀川市第8次総合計画において、生涯学習機能はもとより災害時の避難施設や防災拠点、さらには地域コミュニティ、また協働の拠点として位置付けている。

**問** 岩瀬公民館、稲田公民館の整備にあたり、公民館としての位置付けをどのように具現化する考えか。

**答** 地域コミュニティの拠点として研修室やホールの設置、バリアフリー化など利用しやすい施設となるよう進めている。

防災拠点施設としては、緊急貯水槽や防災倉庫を設置し機能充実を図る。

**問** 老朽化が見られる小塩江・仁井田・西袋公民館は地域コミュニティや防災拠点の役割を備えた地域の中核的施設として、また長沼公民館は、岩瀬公民館と同様にサービスタワーと一体的に整備すべきではないか。公民館が果たすべき役割を考慮したうえで、これから4地区の公民館はどのような整備計画を考えているのか。

**答** 公共施設等個別施設計画策定方針に基づき、各地域の現状や利用者ニーズ、施設の在り方など総合的に勘案しながら、2020年度までに整備計画を策定する考えである。

**その他の質問項目**  
① 土砂災害防止について



関根 保良

本市の農業施策について

**問** 少子高齢化が進む中で、農業従事者の高齢化も進んでいる。本市全体と東部地区における農業就業人口に占める65歳以上の高齢化率について。

**答** 平成27年農林業センサスによると48.77人であり、そのうち65歳以上は27.08人、高齢化率は55.5%であり、小塩江、大東地区の農業就業人口は1256人であり、65歳以上は779人、高齢化率は62%となっている。

**問** 農業者による事故統計によると、高齢者による事故が48%とほぼ半数を占めているが、市ではどのような事故防止対策をとっているのか。

**答** 県の農作業安全運動指針要綱に基づき、春と秋の農繁期を中心に、市ホームページや広報紙を通し、啓発活動を行っている。今後も特に高齢者による事故防止対策にも注力し啓発活動に取り組んでいく。

**問** 本市の耕作放棄地面積と東部地区が占める割合、東部地区の耕作放棄地が多い要因について。

**答** 本市の耕作放棄地は29年度537ha、東部地区は411haで全体の76.5%を占めている。東部地区は、中山間地特有の条件に加え、担い手の高齢化の影響もあり、農地の借り手が少ないことなどが主な要因である。

**問** 人・農地プラン策定の推進策について。

**答** 今後も市農業委員会やJA夢みなみ、農地中間管理機構など関係機関と連携し、引き続き、人・農地プランの策定に向けた支援をしていく。

臨場感ある本会議場で 議会を傍聴してみませんか

次回、3月定例会の一般質問は、3月5日から7日に行う予定です。ぜひお出かけください。

本会議や委員会は、住所・氏名を記入するだけでも傍聴ができます。傍聴席の定員は、本会議が一般席40人、みんなの傍聴席4人、報道関係者席5人、車椅子使用者用スペース3人で、委員会が8人です。



議場の傍聴席には、3台の車いす使用者用スペースがあります。

インターネットでの傍聴はこちらから

本会議の録画中継やライブ中継、会議録が市のホームページでご覧いただけます。

- <中継> ホーム⇒須賀川市議会⇒インターネット会議・中継録画⇒「録画中継を見る」「ライブ中継を見る」
- <会議録> ホーム⇒須賀川市議会⇒市議会会議録検索システム

# 12月定例会の審議結果をお知らせします！

議案等番号	件名	結果	議案等番号	件名	結果		
議案	96	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	◎	議案	106	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	◎
	97	郡山市と須賀川市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	○		107	平成30年度須賀川市一般会計補正予算(第4号)	◎
	98	図書館・中央公民館解体工事の請負契約締結について	◎		108	平成30年度須賀川市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	◎
	99	福島県市町村総合事務組合規約の変更について	◎		109	平成30年度須賀川市介護保険特別会計補正予算(第2号)	◎
	100	須賀川市長の選挙におけるピラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	◎		110	平成30年度須賀川市一般会計補正予算(第5号)	◎
	101	市道路線の認定及び廃止について	◎	報告	21	専決処分の報告について	◎
	102	須賀川市手数料条例の一部を改正する条例	◎		22	専決処分の報告について	◎
	103	平成30年度須賀川市一般会計補正予算(第3号)	◎	議員意見書提出	6	学校給食費の無料化を求める意見書の提出について	◎
	104	議会の議員に対する期末手当支給に関する条例の一部を改正する条例	○		8	県に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」提出についての請願	◎
	105	市長等の給与及び旅費並びに教育長の勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例	○		9	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書	▲
			10		須賀川市庁舎敷地内の大木(ケヤキ・イチヨウ)の保存を求める請願について	▲	

≪結果の表示記号≫ ◎ 全会一致で可決、同意、承認、採択、了承 ○ 賛成多数で可決、採択  
 ▲ 賛成少数で否決、不採択 — 継続審査 □ 賛否が分かれた議案等

## 12月定例会の各議員の賛否一覧

～上の表のうち、賛否の分かれた議案などについて、議員ごとの賛否についてお知らせします～

議案等番号	議員名	志政会								清風会				創政会				無党派			議決結果							
		水野透	溝井光夫	安藤聡	大寺正晃	関根保良	五十嵐伸	佐藤瞭二	大内康司	高橋秀勝	佐藤栄久男	相楽健雄	広瀬吉彦	加藤和記	市村喜雄	大越彰	渡辺康平	本田勝善	生田目進	鈴木正勝	横田洋子	丸本由美子	大河内和彦	大倉雅志	賛成	反対	棄権	
議案 97		○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	18	4	0	
議案 104		○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	20	2	0
議案 105		○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	20	2	0
請願 9		●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	3	19	0	
請願 10		○	○	●	○	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	8	14	0	

※○は賛成 ●は反対 ※議長(佐藤瞭二)は、採決に加わりません。

### 「マチイロ」で「議会だより」をもっと身近に！

「マチイロ」は、アプリ(無料)のダウンロードと簡単な設定で、いつでもどこでも「議会だより」を読むことができます。



マチイロ

### 秋田県横手市議会FM番組に出演しました！

昨年議会広報常任委員会が秋田県横手市議会に行政視察を行った際、FM番組「もっと教えて！横手市議会」の収録に、大寺委員長、佐藤副委員長、渡辺委員が出演し、昨年11月12日に放送されました。横手市議会のホームページから聴くことができますので、右記のQRコードまたは、横手市議会「もっと教えて！横手市議会」で検索してみてください。



横手市議会





# 3月定例会のお知らせ

3月定例会は、2月21日（木）から3月19日（火）までの27日間開催される予定です。

日	月	火	水	木	金	土
2/17	18	19	20	21	22	23
				① 招集日 【本会議】 (議案一括上程 提案理由説明)	② 議員議案調査	休会
24	25	26	27	28	3/1	2
休会	議会運営委員会 議員議案調査	議員議案調査	議員議案調査	③ 総括質疑ほか 【本会議】 (総括質疑、議案 等の委員会付託) 議員議案調査	④ 常任委員会議案調査	休会
3	4	5	6	7	8	9
休会	常任委員会議案調査	⑤ 一般質問 【本会議】 常任委員会議案調査	一般質問 【本会議】 常任委員会議案調査	一般質問 【本会議】 常任委員会議案調査	⑥ 【委員会】 総務常任委員会 建設水道常任委員会 常任委員会議案調査	休会
10	11	12	13	14	15	16
休会	【委員会】 生活産業常任委員会 教育福祉常任委員会	【委員会】 予算常任委員会	休会	【委員会】 予算常任委員会	【委員会】 予算常任委員会	休会
17	18	19	20	21	22	23
休会	⑦ 事務整理	⑧ 最終日 【本会議】 (委員長報告、 議案などの質疑・ 討論・採決)				

## ① 招集日【本会議】 (議案一括上程提案理由説明)

定例会の会期を決定します。  
また、今期定例会に上程された  
議案などの提案理由の説明を受  
けます。

## ② 議員議案調査

21日に提案理由の説明を  
受けた議案について、議員  
が議案の調査をし、今後の  
審査に備えます。

## ③ 総括質疑ほか【本会議】 (総括質疑、議案などの委員会付託)

議案に対する議員の総括質疑を行  
います。また、詳細な審査をするため、  
付託する委員会を決定します。

## ④ 常任委員会議案調査

常任委員会に付託され  
た議案などについて、委  
員会を開催し、議案を調  
査し、今後の審査に備え  
ます。

## ⑤ 一般質問【本会議】

一般質問(5日、6日、7日)  
では、市政全般の事務などにつ  
いて質問を行い、市政執行の状  
況や今後の方針などを確認した  
り、議員としての意見などを述  
べたりします。

## ⑥ 【委員会】

委員会審査(8日、11日、12日、14  
日、15日)では、各委員会に付託と  
なった議案の内容について、質疑を行  
いながら細かく審査します。委員会として  
賛否を決定し、本会議最終日で委員長が  
審査の結果を報告します。

## ⑦ 事務整理

議員が、委員会審査の結  
果を踏まえ議案などに対す  
る賛否を検討します。

## ⑧ 最終日【本会議】(委員長報告、議案などの質疑・討論・採決)

各委員会に付託された議案などに関する委員長報告を行い、質疑・討論を  
実施します。それを踏まえて採決が行われます。また、追加提案や議員提出議案  
などがある場合は、それらについても審議します。



## 議場見学のご案内



小塩江小学校 6年生の皆さん

議場は広くて、じゅうたんはボタンの色をイメージしてすごかったです。

山河ひなたさんの感想

平成31年1月10日(木)に、小塩江小学校6年生7名が議場見学をしました。議会のしくみの説明やクイズにより市議会の役割などを学び、議場や傍聴席などを実際に見て、体験しました。

友だちや家族にも議場の様子を伝えていただき、日程が合えば是非皆さんで議会を傍聴してください。

須賀川市議会では、議場を見学することで議会を身近に感じながら「議会の役割」「行政の内容」「議会のしくみ」を知っていただくために議場見学を実施しています。町内会、社会教育団体、民間団体などの生涯学習行事などに活用ください。

### ●見学可能日

・月曜日～金曜日(土、日、祝日と年末年始や定例会、臨時会の会期中を除く)

### ●見学内容

- ・議場や議会関係施設の見学
- ・議会のしくみの説明
- ・市議会クイズ

### ●見学時間

- ・30分～1時間程度

### ●申込方法

須賀川市議会のウェブサイトに掲載されている議場見学申込書に必要事項を記入の上、見学希望日の10日前までにFAXかメールで申込みをし、送信確認の電話連絡をしてください。

### ●お問合せ先

議会事務局(88-9162)

## 編集後記

市民、読者の皆様 明けましておめでとうございます。(今号が2月15日発行のため遅れてのご挨拶です)

今年は平成最後の年号と、新しい年号・元年(5月1日より)の年となります。

我々市議会議員も4年の任期満了の年となります。

本市も市民交流センター(ette)が1月11日にグランドオープンし、新しい市民の憩いの場、新しい須賀川市の「顔」ができました。

発展期を目指す本市は今、「選ばれるまち」づくりに市民の皆様と一丸となって取り組んでいます。

「議会だより」もなお一層紙面を充実し、「読んでもらえる議会だより」を念頭に委員全員切磋琢磨してまいる所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。(副委員長)

### 議会広報常任委員会

委員長 大寺正男  
副委員長 佐藤栄久  
委員 渡辺康平  
水野 野 康平  
横田 洋子  
本田 善子  
関根 保彰  
大越 保彰

次号の「議会だより」は、5月15日の発行予定です。